日本分析化学会九州支部　2026 年度　第 1 回常任幹事会

日時：2026 年 6 月 15 日（月）15:00 ～17:00
方式：Teams によるオンライン会議
参加者：吉田秀幸、大庭義史、能登征美、梅木辰也、井倉則之、栗崎敏、佐藤しのぶ、白土英樹、田中充、野間誠司、浜瀬健司、藤ヶ谷剛彦、松森信明、満塩勝、岸川直哉、北村裕介、高椋利幸、井上高教、江藤真由美、神崎亮、高田誠、古賀鈴依子

報告事項（敬称略）

1．理事会報告（井上理事）

井上理事より、第一回理事会議事録をもとに報告がなされた。2025 年度の会計報告では、赤字額が約 1,000 万円となっているが財政上問題がないこと、今年度より支部費の変更があり九州支部は少し増えることなどの報告がされた。年度計画では、預金残高が順調に推移していることなどの報告がされた。また、本部事務局が老朽化のため改修を行っており、会員に開かれた空間となる旨の報告がなされた。

2．代議員会（代議員　梅木）

梅木代議員より、第 15 回定時総会議案をもとに代議員会の報告がなされた。定款の一部に変更があったこと、永年会員の推薦候補として九州支部では河済博文先生が永年会員に承認された旨の報告がなされた。

3．九州分析化学若手の会（実行委員長　江藤）

江藤実行委員長より、7 月末に第 39 回若手研究講演会及び第 44 回夏季セミナーが J:com ホルトホール大分で開催されること、昨年度と同様、参加費に宿泊が含まれないことから各自で宿泊先を取る必要があること、これまでの進捗やプログラムについて報告がなされた。緑陰セミナーの交流として北海道支部から招待する方の旅費については、若手の会予算ではなく支部予算から支出する旨の確認がなされた。

4．分析化学講習会（加地実行委員長）

加地実行委員長は都合がつかなかったため、代理の吉田支部長より 8 月開催の分析化学講習会の進捗状況について報告がなされた。実習項

目は昨年度通りの内容（GC, HPLC, ICP-MS, X-ray, SEM/TEM, NMR, Raman）であることが報告された。

５．各誌編集委員会

Analytical Sciences（編集委員　梅木）

梅木委員より、Analytical Sciences 編集委員会議事録をもとにリファレンススタイルの変更についての報告がされた。また、特集号への投稿の積極的な依頼や Anal. Sci. 誌ポスター賞の設置について、2026 年仙台年会から試行的に実施する方針についてなどの報告がなされた。

分析化学（編集委員　北村）＊

北村委員より、「分析化学」誌について口頭で報告があり、第 86 回分析化学討論会の特集号を 12 月に発刊する上で、討論主題のインバイトの方に執筆依頼している旨などの報告がなされた。

ぶんせき（編集委員　岸川）＊

岸川委員より、第 86 回分析化学討論会の報告記事について、高椋先生に執筆依頼済みであることなどが口頭で報告された。

６．第 63 回化学関連支部合同九州大会（庶務幹事　高田）

高田庶務幹事より、第 63 回関連支部合同九州大会の発表演題及びポスター賞審査員についての報告がされた。

７．その他

第 86 回分析化学討論会について（実行委員長 高椋）

高椋実行委員長より、第 86 回分析化学討論会についての開催報告がなされた。参加者は 684 名（台湾 1 名、タイ王国 1 名）、講演数は 373 件（うち若手ポスター160 件）で、17 件のポスター賞を授与したことなどの報告がなされた。

行事予定（支部長　吉田）

吉田支部長より、今後開催予定の全国規模の行事（学会）についての報告がされた。また、今年度が九州支部 70 周年に当たる年であり、75 周年に支部としてイベントを行えればとの提案がなされた。

会員情報（支部長　吉田）

吉田支部長より、会費未納の方への連絡についての協力の依頼がなされた。また、シニア会員についての紹介がなされた。

議題

１．九州分析化学学会賞及び奨励賞（選考委員長　神崎）

神崎選考委員長より、九州分析化学会賞と奨励賞の選考経過について説明がなされ、九州分析化学会賞として九州大学の加地範匡先生、奨励賞として九州大学の村田快太氏、佐賀大学の Muhammad Yudha Syahputra 氏、九州大学の古賀朗寛氏が受賞資格を有しており、全会一致で認められたことが報告された。九州大学の小川晋氏については、4/1 時点で 35 歳であり規定の「原則 35 歳未満」を満たしているか曖昧であったため、常任幹事会で議論することで同意した旨の報告がされた。常任幹事会においては、いずれも受賞の資格ありということで承認された。一方で、規定については曖昧な表現をなくすよう改定することが了承された。

２．支部幹事会・講演会・見学会（支部長　吉田）

吉田支部長より、本会について 2026 年 11 月に見学会が九電産業株式会社環境分析センターで、幹事会等が近隣の施設で開催されることが報告された。内容については後日ホームページ等で知らせることが報告された。

３．学会共催依頼書（実行委員長　高椋）

高椋実行委員長より、日本中性子科学会第 26 年会を九州大学医学部百年講堂（福岡市）で 2026 年 12 月 2 日（水）～4 日（金）に行うので、九州支部としての共催の申し込みがあった。異議なく了承されたため、日本分析化学会九州支部の会員は、日本中性子科学会会員と参加費が同額になることについても報告がなされた。

４．規約改定（支部長　吉田）

吉田支部長より支部の規約、学会賞の規定、奨励賞の規定、ポスター賞の規定について、改定案が提案された。井上先生からは支部の会計は監査が必要ないため、監事となった経緯が説明された。奨励賞の対象を学会員に限る件については、応募の母数確保のために改定しない方向が望ましいとの意見がなされ、内規や覚書等を含めて改めて今後も議論することとなった。

５．支部役員の変更（支部長　吉田）

福岡大学理学部の栗崎先生より同理学部の市川慎太郎先生が幹事へ推薦された。また、来年度支部長の大庭先生より来年度副支部長として九州大学の秋田健行先生が、来年度会計幹事として長崎国際大学の小櫻龍騎先生が推薦された。

６．その他

役員名簿（庶務幹事　高田）

支部幹事リストの確認がなされた。

＊印は資料なし